



東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告⑮ 『きょういく東村山』より

第1次計画のまとめ



推進体制の整備

市では、平成17年3月に策定した『東村山市子ども読書活動推進計画』に基づき、平成17年度から21年度までの5年間、様々な取り組みを実施してきました。

これまでに、図書館を中心に、行政内の関連部署や、保育園、児童館、学校などの関連施設との連携体制ができ、子どもの読書推進への取り組みを市内全体で進めています。

また、子どもの読書にかかわる市民の皆さんも増え、市内の様々な場所での読み聞かせや学校図書館整備などにお力添えいただける貴重な支援の輪が形成されています。

市民の皆さんの活動を支える事業として、「東村山子ども読書連絡会」や「読み聞かせ入門講座」、「学校図書館ボランティア研修会」などを開催してきました。特に、「子ども読書応援団養成講座」は、市民の方とつくった実行委員会で企画し、2年間で延べ1000人の方が参加する大規模な講座となりました。

年代に合わせた取り組み

この計画は、赤ちゃんから18才までの子どもたちを対象にしていますが、乳幼児への取り組みとしては、「子育て中に絵本と出会えるまち」をめざし、健診会場での読み聞かせ、「赤ちゃん絵本ひろば」や「おひさま広場」でのおはなし会、「おすすめ絵本パック」の設置などを進め、「東村山版ブックスタート」のしくみをつくることができました。

小中学校図書館では、図書購入のしくみを変更し、以前は不統一だった本の分類ラベルなどを市

内全校で統一しました。それによって、図書館整備の土台が整い、小学校を中心に司書教諭やボランティアの方々や学校図書館のリニューアルを進めてきました。

高校生世代には、広い読書の世界に導くためのブックリスト「いい瞬間(とき)みつけた」を新たに発行しました。

また、読書の楽しさ・大切さを広く市民の皆さんに伝える取り組みとして、市立図書館で「子ども読書の日」の行事を行ったほか、子どもや、子どもの読書に関わる人に役立つホームページを立ち上げました。

第2次計画へ

「学校図書館への専門的な職員配置の検討」や障害のある子どもたちの読書活動への支援など、まだまだ課題も残っていますが、引き続き『第2次子ども読書活動推進計画』(平成22年度～26年度)の中で取り組んでいきたいと考えています。

第2次計画は、関連施設や市民の皆さんからいただいたご意見をもとに、来年3月に策定する予定です。今後とも、子どもに読書の喜びを伝えるために、ご協力くださいますようお願いいたします。

『きょういく東村山』第61号より

平成21年12月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会